

# 第一次世界大戦後ドイツにおける義勇軍経験の史的 分析

著者	今井 宏昌
学位授与年月日	2016-02-29
URL	<a href="http://doi.org/10.15083/00073179">http://doi.org/10.15083/00073179</a>

博士論文（要約）

第一次世界大戦後ドイツにおける義勇軍経験の史的分析

今井 宏昌

## 論文の内容の要約

題 目 第一次世界大戦後ドイツにおける義勇軍経験の史的分析

氏 名 今井 宏昌

本論は、第一次世界大戦後のドイツで結成された志願兵部隊「義勇軍 [Freikorps]」の経験が、その後のドイツ史にとっていかなる意味をもつのかを、相異なる政治的道程を歩んだ3名の人物のバイオグラフィを軸に検討したものである。

その内容については、すでに単行本として刊行されることが出版社との契約上決定しているため、ここでは以下に書誌情報を示すにとどめる。

書 名	『暴力の経験史—第一次世界大戦後ドイツの義勇軍経験 1918~1923』
著 者	今井 宏昌
出版物の体裁	A5判、横組、上製、カバー巻、311頁
価 格	本体価格 6,400円+税
出 版 社	株式会社 法律文化社
刊 行	2016年5月
I S B N - 1 0	4589037688
I S B N - 1 3	9784589037688